

## 自動制御の多分野応用小委員会（第26期・第4回）議事要旨

日時： 令和7年11月1日（土）12:00～13:15

会場： ハイブリッド会議

現地会場：名古屋大学東山キャンパス オークマ工作機械工学館 2階オープンクラス  
遠隔会議（Zoom）

出席（順不同・敬称略）：全18名

藤崎 泰正（阪大），田中 真美（東北大），浅間 一（東大），井村 順一（科学大），  
岩崎 誠（名工大），水野 毅（埼玉大），石井 秀明（東大），茨木 創一（広島大），  
牛田 俊（大阪工業大），小澤 誠一（神戸大），加納 学（京大），管野 政明（新潟大），  
中野 公彦（東大），増田 士朗（東京都立大），渡辺 亨（日大）

オンライン参加者：内村 裕（芝浦工業大）

報告者：原 進（名大），関口 和真（東京都市大）

欠席：榎木 哲夫（京大），坂東 麻衣（九大）

### 配布資料

資料1-1：自動制御の多分野応用小委員会（第26期・第3回）議事要旨

資料1-2：委員名簿20250401

資料1-3：自動制御連合講演会運営委員会規程

資料1-4：自動制御連合講演会規程

資料2-1：第68回自動制御連合講演会報告（その1）

資料2-2：第68回自動制御連合講演会報告（その2）

資料3：第69回自動制御連合講演会計画

### 議題

#### 1. 前回議事録の確認

藤崎委員長（阪大）より，資料1-1, 1-2の説明と確認がなされた。

#### 2. 自動制御連合講演会の運営に関する事項

議論に先立ち，藤崎委員長（阪大）より，本件に関連して資料1-3, 1-4の講演会運営委員会規程および講演会規程を参照するように説明があった。

#### ① 第68回自動制御連合講演会計画

原実行委員長（名大）より，資料2-1, 2-2に基づき実施報告がなされた。講演プログラムはOS21件，講演数367件となった。特別講演は2件あり，武田浩嵩様（トヨタ自動車株式会社）による「モビリティの未来像と研究開発の挑戦～電動化・知能化・多様化が導く進化のかたち～」，および井村順一先生（東京科学大学）による「競争的研究プロジェクトから学んだこと～若手研究者に向けて～」である。会議参加登録者は合計580名超，収支概算は，収入10,360千円，支出6,840千円（10月29日時点）である。

## ② 第69回自動制御連合講演会計画

関口実行委員長(東京都市大)より、資料3に基づき計画案が説明された。第69回は2026年11月7日(土)・8日(日)に東京都市大学世田谷キャンパスにて開催する。講演募集のスケジュール案として、OS 提案締切を7月13日、講演申込締切を7月31日としている。会議規模としては、講演数300件、参加者数500名を想定している。来年はSICE FESが9月にパシフィコ横浜で開催され、東京近郊の多くの研究者が関わるため、連合講演会の実行委員会は東京都市大学を中心に若手研究者で構成されることが説明された。予算や会場等について意見交換がなされた後、実施計画を承認した。

## 3. IFAC分科会の活動について

田中委員(東北大)より、国際学術団体であるIFACの活動状況に関する調査票が日本学術会議に提出された旨説明がなされた。また、IFAC本部より Japan NMO に対して IFACの技術委員会の委員長の推薦依頼が届いており、適任者がいれば推薦してもらいたい旨説明がなされた。また、浅間委員(東大)より、2026年のIFACの上部委員会の委員となることが承認された日本人研究者3名が紹介された。

## 4. 今後の活動計画

藤崎委員長(阪大)より、本小委員会は次回、来年5月に遠隔会議の形で開催予定であることがアナウンスされた。

## 5. その他

石井委員(東大)より自動制御連合講演会公式ホームページが再開されたことが説明された。アドレスは以下のとおり：<https://www.jjacc.org>

以上